

オーナー手づくりの美味しい料理が自慢！ 連日多くのお客様で賑わう摂津の人気居酒屋



オーナー
林 曜子

居酒屋 キャサリン

大阪府摂津市烏飼本町4丁目8-29

明るく気さくな林オーナーがつくる美味しい手料理が自慢の『居酒屋 キャサリン』。連日たくさんのお客様があるといい、そうした人々の「美味しい」という声援を原動力に、オーナーはお店を切り盛りしている。本日は、そんなオーナーのもとをタレントの板東英二氏が訪問し、様々なお話を伺った。

——まずは、林オーナーの歩みからお聞かせ下さい。

奈良県の出身で、学業修了後に大阪に出てきました。飲食業に携わるようになり、しばらくしてピアノを習っていたことからピアノ教室で働いていたんです。ただ、私は接客業のほうが好きだったので、飲食業に戻ることに。それからは大阪・ミナミで居酒屋やお蕎麦屋、スナックにラウンジなど、色々な飲食業を経験してきました。そして、26歳の時に結婚したことから、摂津に移り住んだんです。

——『キャサリン』さんをオープンされたことには、何かきっかけがあったのでしょうか。

実は離婚をしてしまいましたね。女手一つで二人の子どもを育てていくために、お店をはじめようと思ったんです。また、2016年の春に手術をしたことも転機になりました。「ちまちまやっていられないし、生きているうちに目一杯やっておこう」と思い、両親に「退院したらすぐ居酒屋をはじめから！」と

伝えたところ、呆れられましたね（笑）。私としては、夏の活気づいている時期にお店をはじめたいと考えていたので、退院後3カ月でお店をオープンしました。

——それはそれは（笑）。目標を実現し、僅か3カ月でお店をはじめられたのはすごいことだと思います。オーナーのバイタリティーには驚かされます。

ありがとうございます。子どもたちのためにも、失敗できませんから、まさに背水の陣のスタートでしたね。ただ、私には長く飲食業に携わってきた経験があっただけか、不思議と失敗するかもしれないという気持ちはありませんでした。

——いざオープンしてみて、いかがでしたか。

口八丁手八丁では長く続けられないと考えていたので、料理には特に力を入れています。毎日市場で厳選した食材を使って、手間暇をかけてつくった美味しい手料理をお出ししているんですよ。この辺りは飲食店が少ないこともあってか、家族連れのお客様や、女性のお客様など、色々な方がご来店下さいます。先

日、感謝の意を込めてお客様と一緒に近所でお花見をしたところ、40名ものお客様が集まって下さいました。本当に、良いお客様に恵まれました。

——良い縁に恵まれたのは、オーナーの努力の賜だと思いますよ。やり甲斐も大きいことでしょう。

ええ。体力的に大変な部分はありますが、お客様から「美味しい」という言葉をいただけるのと疲れも吹き飛びます。そして、「また来るね」とおっしゃって、本当に来て下さるとお店をやっている良かったと感じます。

——やはり、オーナーにとって飲食のお仕事は天職なのでしょうね。最後に、今後についてはいかがお考えですか。

最低でもあと10年はお店を続けていきたいと思っています。そしてその後は、地元である奈良県に帰って同じような居酒屋をオープンしたいですね。そんな目標を実現するためにも、『キャサリン』をしっかりと切り盛りしていきたいと思っています。

（取材／2017年4月）



ゲスト 板東 英二

「お子さんのために思い切ってお店をはじめられた林オーナー。手術を受け、退院されてから僅か3カ月でお店をオープンされた行動力は実に素晴らしい！ これからも、来店されるお客様に楽しい時間を提供して行って下さい！ 陰ながらではありますが、応援しています！」

